

クラッチの点検

《レバーの遊び》

抵抗を感じるまで、手でクラッチレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定の範囲内にあるかをスケールなどで点検します。

クラッチレバーの遊び: 10—20 mm

《クラッチの作用》

- アイドリング状態で、クラッチレバーをいっばいに引いたとき異音がないか、異常に重くなく、いかを点検します。
- クラッチレバーを徐々に離して発進したとき滑りがなく、接続が滑らかであるかを点検します。

